

なし

発行年	1910
URL	http://hdl.handle.net/10114/475

復茅四五六群

法典調查ノ爲メ各地方土地建物貸借ノ数全
ニ関スル慣例取調ノ儀關西茅二八群ヲ移牌
ノ趣ニ依リ別紙ニ各申書及傳送附復條御領
收相成度候也

明治廿六年八月七日

鹿兒島縣

内務書記官 井中

内務省

か
つ
し
こ

一 不動産、貸借に借主より貸主に敷金ヲ入ルノ慣例アリヤ

答 不動産、内地所家屋貸借に借主より貸主ニ敷金ヲ入ルノ慣例アリ

一 敷金ハ家屋貸借ノ場合ニ限ルモノナリヤ耕作地建築地等ノ貸借ニモ敷金ヲ入ルノ慣例アリヤ

答 敷金ハ家屋及建築地等ノ貸借ニ入ルノ慣例アルモ耕作地ノ貸借ニ敷金ノ慣例ナシ

一 敷金預り主ハ其利子ヲ拂フ慣例アリヤ

答 敷金ノ預り主ハ其利子ヲ拂フ慣例ナシ
一 敷金ヲ入ルノ目的如何

内務省

答 借貸不拂其他損失補償等ニ充ツル
目的トス

一 貸主敷金若クハ其利子ヲ以テ借貸不拂其他損失ノ補償等ニ充ツルコトヲ得ルヤ

答 前項答ノ通

一 貸借満期ニ至リ借主未タ其義後ノ辨済ヲ了セサルモ貸主ハ敷金ヲ返還スルノ慣例ナルヤ

答 貸借満期ニ至リ借主其義後ノ辨済ヲ了セサルトモ貸主ハ敷金ヲ返還セズ且

其義後ノ辨済ヲ了セタルトモ敷金ヲ返還スル慣例アリ